

JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

令和5年5月12日 発行 第90号

第42回理事会開催報告

去る、令和5年3月24日(金)にリアル&オンライン開催 Zoomの併用方式にて、第42回理事会が開催されましたので、概要を報告致します。

第1号議案 今期収支最終見込 及び 来期収支最終予算案 概況に関する件
(公益目的支出計画進捗想定も含む)

専務理事より報告があり承認された

第2号議案 「釣りフェスティバル」に関する件

荒井委員長及び事務局より「釣りフェスティバル2023」の開催結果報告及び「釣りフェスティバル2024」の方向性について報告があり承認された

第3号議案 委員会活動報告に関する件

- (1) LOVE BLUE委員会報告
- (2) JAF実行委員会報告 (第1号議案を持って割愛)
- (3) 規格・安全委員会報告
- (4) 市場調査委員会報告
- (5) 広報・組織委員会報告 ① 広報拡大WG ② 組織強化WG

各委員長及び事務局より今期最終活動見込み及び来期(令和5年度/2023年度)事業計画(案)に関して報告があり承認された

第4号議案 プロジェクト活動報告に関する件

- (1) 情報収集分析プロジェクトに関して
- (2) 海外戦略プロジェクトに関して

各リーダー及び事務局より今期最終活動見込み及び来期(令和5年度/2023年度)事業計画(案)に関して報告があり承認された

第5号議案 今期令和4年度 収支見込 及び来期令和5年度(2023年度)収支計画(案)に関する件について、専務理事より報告があり承認された

- (1) 全体 収支見込 及び 収支予算
- (2) LOVE BLUE 事業 収支見込 及び 収支予算
- (3) JAF事業 収支見込 及び 収支予算
- (4) 公益目的支出計画進捗状況(今期及び来期見込み)
- (5) 日本フィッシング会館長期修繕計画実施報告に関する件

第6号議案 会長・専務理事の職務執行状況の報告に関する件について会長及び専務理事より報告があり承認された

第7号議案 その他報告承認事項に関する件について事務局より報告があり承認された

- (1) 規程、規則改正の件
- (2) 会員代表者変更及び入・退会会員の件
- (3) (一社)日本釣用品工業会名義使用許諾申請に関する件
- (4) 2023年11月理事会地方開催に関する件
- (5) 次回、総会・理事会スケジュール
- (6) 連絡事項

CONTENTS

第42回理事会開催報告	P. 1
釣具の輸出入推移表	P. 2
釣りフェスティバル2023開催報告及び2024開催のご案内	P. 2
LOVE BLUE委員会からのお知らせ	P. 3
規格・安全委員会からのお知らせ	P. 4
広報・組織委員会からのお知らせ	P. 5
海外戦略プロジェクトからのお知らせ	P. 5
会員動向	P. 6
事務局だより	P. 6

目次

釣具の輸出入推移表（財務省通関統計より）

輸出高（金額 FOB、千円）

年（暦年）		2021上半期（令和3年1月～6月）			2021下半期（令和3年7月～12月）			2021年度（令和3年1月～12月）		
品目名	数量単位	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率
釣竿	pcs	5,223,006	3,069,868	125.8%	6,290,205	3,360,315	108.7%	11,513,211	6,430,183	116.2%
釣針	千GS	5,237,645	2,527,017	136.5%	5,379,279	2,657,381	113.1%	10,616,924	5,184,398	123.4%
擬餌針	GS	281,539	1,700,726	134.9%	266,027	1,905,289	108.4%	547,566	3,606,015	119.5%
釣用リール	pcs	25,300,176	7,578,797	114.6%	17,722,046	7,594,273	122.8%	43,022,222	15,173,070	118.5%
その他（たも網、挿虫網、および狩猟用具類）	—	—	3,540,277	151.8%	—	4,057,194	146.6%	—	7,597,471	149.0%
輸出高	—	—	18,416,685	127.0%	—	19,574,452	121.2%	—	37,991,137	123.9%

2022上半期（令和3年1月～6月）			2022下半期（令和3年7月～12月）			2022年度（令和3年1月～12月）		
数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率
6,234,990	3,790,856	123.5%	5,806,688	4,461,216	132.8%	12,041,678	8,252,072	128.3%
5,202,669	2,692,198	106.5%	5,046,953	2,618,766	98.5%	10,249,622	5,310,964	102.4%
270,394	1,767,480	103.9%	314,019	1,990,850	104.5%	584,413	3,758,330	104.2%
19,889,573	10,576,525	139.6%	11,478,092	12,143,669	159.9%	31,367,665	22,720,194	149.7%
—	4,986,171	140.8%	—	4,387,105	108.1%	—	9,373,276	123.4%
—	23,813,230	129.3%	—	25,601,606	130.8%	—	49,414,836	130.1%

輸入高（金額 CIF、千円）

年（暦年）		2021上半期（令和3年1月～6月）			2021下半期（令和3年7月～12月）			2021年度（令和3年1月～12月）		
品目名	数量単位	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率
釣竿（部品を含む。）	pcs	3,015,214	10,834,576	137.1%	2,943,199	12,112,114	151.8%	5,958,413	22,946,690	144.5%
釣針	千GS	14,904,585	6,513,626	141.4%	16,172,591	7,621,094	146.1%	31,077,176	14,134,720	143.9%
釣用リール	pcs	7,667,910	6,895,224	139.9%	4,665,489	6,918,930	124.0%	12,333,399	13,814,154	131.5%
その他のもの	—	—	7,008,446	122.7%	—	6,813,533	122.0%	—	13,821,979	122.4%
輸入高	—	—	31,251,872	135.0%	—	33,465,671	137.4%	—	64,717,543	136.2%

2022上半期（令和3年1月～6月）			2022下半期（令和3年7月～12月）			2022年度（令和3年1月～12月）		
数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率
2,823,766	12,818,747	118.3%	2,139,826	14,975,341	123.6%	4,963,592	27,794,088	121.1%
17,625,406	8,180,251	125.6%	18,187,616	9,054,076	118.8%	35,813,022	17,234,327	121.9%
4,926,436	7,276,251	105.5%	4,174,628	7,625,393	110.2%	9,101,064	14,901,644	107.9%
—	8,697,922	124.1%	—	8,084,004	118.6%	—	16,781,926	121.4%
—	36,973,171	118.3%	—	39,738,814	118.7%	—	76,711,985	118.5%

「釣りフェスティバル2023」開催報告及び2024に向けて

JAf実行委員会（荒井一郎委員長）では、「釣りフェスティバル2023」を釣り業界を盛り上げる新たな出発点として3年振りとなるリアル開催にて実施致しました。関係者の皆様の安心・安全を最優先に、基本的感染対策の徹底やブース運営の見直しなど、出展社の皆様には様々な制限をお願いし、無事に3日間の開催を終了することができました。

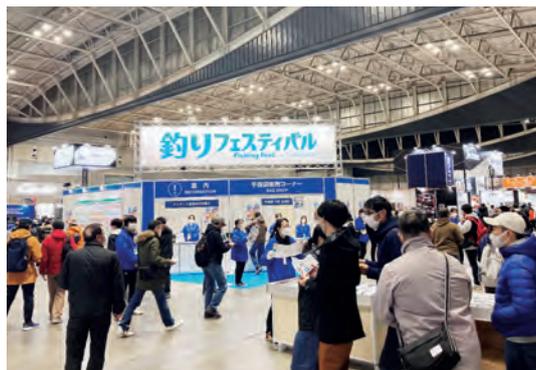
これもひとえに出展社並びに関係者の皆様のご協力の賜物と深く感謝致しております。

パシフィコ横浜には、2万4千人を超える“熱い釣りファン”が来場され、新製品に触れ、メーカースタッフやプロアングラーとの直接のコミュニケーションを満喫されました。

特に、コロナ禍で釣りをはじめた新たな釣りファンが多くみられ、釣り業界活性化につながる手応えを感じました。また、オンラインサイトには、3月5日（日）までの会期中に、世界69ヶ国から16万を超えるユーザーが来訪され、PV（ページビュー）数は110万回以上となりました。

さて、昨今は、世情が劇的に変化し、普段の日常が戻りつつあります。次回の「釣りフェスティバル2024」（会期：2024年1月19日（金）～21日（日））は、様々な制限が解除され、コロナ以前の活気を完全に取り戻すことができると確信しております。「リアル開催完全復活」を掲げ、“釣りを楽しむすべての人へ、新しい釣りの魅力と出会う場”として、過去最大の来場者数を目標に「新生・釣りフェスティバル」を創り上げてまいります。

何卒、積極的なご支援を賜りますようよろしくお願い致します。



LOVE BLUE委員会からのお知らせ

今年度も会員企業の皆様、参加企業・団体の皆様のご理解とご協力のもと、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業は、日本全国において公平に優先三事業（水辺をキレイに、サカナを守ろう、フィールドを広げよう）を推進して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

LOVE BLUEマナー広報

これから釣りを始めようとしている人や釣りを始めたばかりの人（エントリー層）へ、そして、波及的に釣り人の皆さんへも伝わるように取り組んで参ります。

Huff Post JapanとBuzz Feed Japanで記事等が掲載されます。

また、この取組みは業界三紙（釣具界/日本釣具新報/釣具新聞）へ情報提供しておりますので、是非ご確認ください。

LOVE BLUE プロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、（1月から3月）では新規実施場所4箇所を含む、2県で18日間実施（2022年度累計：1道24県178日実施）

2023年度も社会情勢などを見極めながら、引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施して参ります。

1月～3月までの実績

期間	実施日数	実施場所
3/4～3/6	3日間	茨城県土浦市 大岩田船溜まり
3/7～3/9	3日間	茨城県土浦市 蓮ヶ原船溜まり
3/18～3/21	4日間	広島県江田島市 深江漁港
3/23～3/26	4日間	広島県江田島市 鹿川港
3/28～3/31	4日間	広島県福山市 横田漁港



茨城県土浦市 蓮ヶ原船溜まり



広島県江田島市 深江漁港



広島県江田島市 鹿川港



広島県福山市 横田漁港

LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業

専門機関と連携した放流事業では今年度も引き続き、釣り人の皆様に喜んで頂ける魚種を放流しております。

1月～3月までの実績

都道府県	魚種	放流尾数	放流場所	放流日
長崎県	クエ	4,000尾	宇土湾沖	3月20日



長崎県 クエ

水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

水産庁後援事業として、全国からの応募受付（期間6/20～9/30）を終了し、2022年度採択団体が決まりました。尚、応募要領は水産庁から各都道府県内水面担当部局、全国内水面漁業協同組合連合会から各都道府県内水面漁業協同組合連合会等、さらに、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門沿岸生態システム部 内水面グループから各都道府県水産試験場へ配布・周知されておりました。

2022年度採択団体

採択番号	事業主体	実施地
022	埼玉県漁業協同組合連合会	埼玉県
023	下伊那漁業協同組合	長野県 岩倉ダム
024	阿寒湖漁業協同組合	北海道 阿寒湖

地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する12団体（2015年度助成開始以来累計34団体）が、各地で活発に活動されています。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣り人の皆様に深く感謝します！」とお喜びのお言葉をいただいております。引き続き、水辺を守る皆様と連携しながら展開して参ります。

規格・安全委員会からのお知らせ

ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ

規格・安全委員会LJWG（高階才文リーダー）では、ライフジャケット着用の啓蒙から点検の重要性を伝えるにあたり、その啓蒙活動を引き続き、実施して参ります。

広報・組織委員会からのお知らせ

組織強化WG

組織強化WGでは、「釣用品の国内需要動向調査報告書に関するオンラインセミナー ～業界外から見た釣り業界とは～」を開催致しました。内容は二部構成で実施し、一部では釣用品の国内需要動向調査報告について、二部では異業種より講師を招いたパネルディスカッションとして、業界外から見た釣産業の魅力と課題について行われました。ご参加は申込企業41社、申込人数73名となっております。



前列左から：(株)ゴルフダイジェスト・オンライン 向井康子様
時之栖ツアーズ(株) 加藤弘一朗様
NPO法人自転車活用推進研究会 内海潤様
後 列：広報・組織委員会 櫻井孝行委員長
同委員会 組織強化WG 荒井一郎リーダー

広報拡大WG

広報・組織委員会（櫻井孝行委員長）広報拡大WG（河原也寸志リーダー）では、当WGが企画・編集を行っている「あした、釣り行こ！通信」が、釣りとの親和性が高いアウトドア愛好者に向けても、釣りの楽しさを伝えています。3月25日（土）・26日（日）に東京都新宿区の新宿中央公園で開催された、アウトドアイベント「TOKYO outside Festival 2023」に出展いたしました。



2日間ともあいにくの雨模様となりましたが、あした、釣り行こ！通信のブース（釣り体験キャッチ&イート、釣りスクラリー ルアーペイントなど）には117組の皆様が来場し、釣りの楽しさを体験されました。

～会員向け初回無料法律相談の実施～

会員の皆様へ、初回無料にて法律相談をご利用頂けるサービスのご提供を行っております。初回無料法律相談の詳細は、別添資料をご覧ください。

海外戦略プロジェクトからのお知らせ

海外戦略プロジェクト（高階義尚リーダー）では、会員の皆様に、釣用品の海外ビジネス情報をお知らせする当工業会会員専用ページを開設いたしました。専用ホームページを閲覧するためには、Googleform（下記URLもしくはQRコード）からご登録をお願い申し上げます。

<https://forms.gle/uo8UKM633b1Z6GP98>

お申込み後、3営業日以内に事務局よりURL及びアクセス用ID・パスワードをお送りいたします。

現在ご覧いただけるコンテンツは、

1. 2020年Southwick社 アメリカ釣具市場概況
2. Southwick社米国釣具市場レポート当工業会会員価格のご案内
3. TackleTradeWorld社主要国釣り及び釣具市場レポート（2021年発行）



会員動向

〈新規入会〉

株式会社R・H

住 所：〒663-8233 兵庫県西宮市津門川町 5-28

T E L：0798-26-1882 F A X：0798-26-1890

代表者：代表取締役社長 谷山 令一 氏

業 種：釣用品の製造及び修理業務、釣用品の販売業務

〈会員住所変更〉

株式会社BOZLES

新住所：〒452-0837 愛知県名古屋市西区十方町
116番地

T E L：050-3318-0871 F A X：052-325-7503

株式会社ビーエムオージャパン

新住所：〒480-1151 愛知県長久手市久保山1602番地

T E L：0561-56-8188 F A X：0561-56-8166

〈会員代表者変更〉

ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社

新代表者：トーマス・エイ・コンロイ 氏

前代表者：吉川 祥一 氏

〈会員住所地番変更〉

株式会社パームス

新地番：〒254-0911 神奈川県平塚市山下 3-24-3



事務局だより

◆総務省・経済産業省は、2023年6月1日に、「2023年経済構造実態調査」を実施します。「経済構造実態調査」は、我が国の全ての産業の付加価値等の構造を明らかにし、国民経済計算の精度向上への寄与のほか、より正確な景気判断や効果的な行政施策の立案、実施のための基礎資料、企業経営の参考資料などに広く活用されることを目的としています。調査票が配布されましたらご回答をいただきますようお願い申し上げます。



◆会員限定 国内向け賠償責任保険のご案内

本年度も、国内向け賠償責任（PL）保険制度の募集を開始しております。本制度の特徴は、団体保険料率（賠償責任保険及びリコール費用補償特約が対象）が適用されること、施設所有（管理）者賠償責任保険をオプションとして追加いただけることとなります。まずはお見積だけでもご検討いただけますと幸いです。詳細は、4月上旬にお送りした資料、もしくは当工業会ホームページをご覧ください。

◆令和5年10月1日より開始される消費税インボイス制度に関する適格請求書発行事業者登録番号のご通知

適格請求書発行事業者登録番号

T3010005004298

◆いつも標準伝票をご利用いただきましてありがとうございます。

原材料費、運送料金等の高騰を受け4月1日出荷分から、下記の通り価格を改定させていただきました。何とぞご理解いただけますようお願い申し上げます。

新価格 消費税込 1箱 ￥9,600 (旧価格 消費税込 1箱 ￥7,590)

JAFTMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人

日本釣用品工業会

〒104-0032東京都中央区八丁堀2-22-8日本フィッシング会館5F

TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>